

# 令和5年度 事業報告

## 公益社団法人羽曳野市シルバー人材センター

我が国は、30年に及ぶデフレに悩まされてきました。コストカットが最優先され、賃金を含めた人への投資や、未来の成長につながる設備投資まで削減されてきました。令和5年度はそんなデフレから脱却するべく、30年ぶりとなる高水準の賃上げとなり、株価も30年ぶりの高水準になりました。しかし、高水準の賃金上昇でも物価上昇に追いついていない厳しい状況で、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠いた年度でした。また、令和5年10月に施行されたインボイス制度の導入によりシルバー人材センターにとって新たな消費税負担が生じました。高水準の賃上げやインボイス制度の導入等、シルバー人材センターを取り巻く環境は非常に厳しく、まさに過渡期を迎えた年度でした。羽曳野市シルバー人材センターにおいては、高水準の賃上げになる事を見越して企業とは、従来の年間契約から半年契約に切り替えた事で、会員が適正な配分金を受け取れる様にしました。インボイス制度につきましても対象会員にインボイス制度についての説明会を開き、ご理解を頂いた事でスムーズに対応する事ができました。

事業実績におきましては、契約金額は、請負部門 370,419,013 円(前年度比 0.38%増) 派遣部門 128,643,883 円(前年度比 5.43%増)全体で 8,015,379 円の増(前年度比 1.63%増)、就業実人員は、請負部門では 718 名(年度内で一度でも就業した会員)で全体の 82%、派遣部門では 153 名(年度内で一度でも就業した会員)で全体の 17.43%、全体で 871 名・就業率 99.43%と社会情勢が厳しい中でも 12 年連続 90%台を達成することができました。

企業の定年延長や人手不足による高齢者の再雇用等、シルバー人材センターの会員の高齢化がますます深刻な問題となっている中でも高齢者のより一層の活躍が期待されています。羽曳野市シルバー人材センターは、人生 100 年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っている事を認識しつつインボイス制度の導入や最低賃金上昇による適正な就業金額の見直し・派遣法の趣旨に基づく適正な運営等、羽曳野市内のたくさんの高年齢者が健康で働けるように積極的に事業の発展に取り組み、以下の活動を実施しました。

### 1. 事業実施状況

#### (1)就業開拓提供事業について

①市内新規事業所、自治会、公共施設等を訪問し、既存の就業先リストや会員の希望職種・技能・資格等の人材リストを活用する等、就業機会開拓推進員による新たな就業機会の開拓・拡大を行いました。(契約件数：請負 2197 件・派遣：177 件)

- ②空家・空地の管理事業や高齢者家庭をはじめ一般家庭へのサポートサービスを全市に、PR し事業拡大に努めました。(契約件数：1件)
- ③介護職員初任者研修を実施し、介護部門での就業拡大に努めました。(受講者 34人)
- ④毎月、「就業情報」を発行し就業機会の提供を行いました。(373号～384号)
- ⑤「就業基準要綱」によるワークシェアリング・ローテーション就業の推進に努めました。
- ⑥発注者のニーズにより請負・委任事業、職業紹介事業、労働者派遣事業など就業形態を提案し、就業機会の拡大に努めました。
- ⑦介護予防・日常生活支援事業を実施し、女性会員の就業機会の拡大に努めました。
- ⑧自治会・公共施設等を通じて、チラシ配布をして会員拡大のPRをしました。
- ⑨未入会者に対して会員が口コミ等を通じて会員拡大のPRをしました。
- ⑩市内の広報板で入会説明会の日程を案内し会員拡大をPRしました。
- ⑪市内にある各スーパーマーケットに会員募集のポスターを掲示してもらい、会員拡大をPRしました。(掲示スーパー8件)

## (2)普及啓発事業について

- ①センターの活動内容・事業趣旨等を幅広く普及させ、理解していただくため、リーフレット、パンフレット、会報「シルバー羽曳野」、ホームページ、市広報紙等を活用し効果的にPRしました。
- ②入会説明会を毎月2回開催し、西地区・東地区の公共施設で臨時入会説明会や個別訪問説明会を実施し会員拡大に努めました。(年31回・参加者223名)
- ③全部会によるチラシ配布や広報活動等を行い会員拡大に努めました。
- ④「センター連絡所」・「家事援助利用相談所」を通じ、センターのシステムや事業内容等の普及に努めました。
- ⑤10月の普及啓発促進月間中に「シルバーの日」を設け、市主催のボランティア活動やイベントに参加・協賛しPRしました。
- ⑥「事務局だより」を毎月発行し情報を提供しました。(390号～401号)
- ⑦会報「シルバー羽曳野」への投稿を会員以外にも依頼し、事業PRも載せ、市内公共施設16か所に配置するなど一般市民にセンターを理解していただけるよう努めました。(年2回発行、市内公共施設16か所に配置)
- ⑧女性会員が非常に少ないため女性会員の拡大につとめ、チラシ配布等でPRしました。
- ⑨各会員に「友人や近所の方を入会してもらおう」「1会員1紹介」をPRし、さらなる会員増員をめざしました。
- ⑩介護職員初任者研修事業を多くの市民に知ってもらえるように、市広報紙や市広報板を活用し、また公共機関や介護施設等にチラシを設置してもらいPRに努めました。

## (3)独自事業の実施について

- ①自転車リサイクル事業として廃棄自転車のリサイクル販売、自転車修理店の運営を行い、会員に就業の場を作り事業拡大を図りました。
- ②腐葉土事業として剪定枝チップから腐葉土製造・販売し、会員に就業の場を作り事業

の拡大を図りました。(販売実績：腐葉土 200 2254 本・腐葉土 100 55 本)

③農園事業としてシルバー農園を運営し、野菜の栽培・販売を行い、会員に就業の場を作り事業拡大を図りました。(大根、玉ねぎ、ジャガイモ、にんにく等)

④貸農園事業を実施し市民や会員に多く利用してもらい、事業拡大を図りました。

(ビニールハウス 2 棟 1 人 74 区画 37 人)

⑤介護職員初任者研修事業を実施し市民や会員に多く利用してもらい、福祉に貢献し事業拡大を図りました。(3 回開講・受講者 34 人)

⑥新たな事業について企画や提案等を募り、事業化できるよう検討しました。

#### (4)研修・講習会事業について

①研修や技能講習等による会員の技能及び知識の向上に努めました。

②学校関係就業会員を対象にハラスメント・人権研修を開催しマナー及び知識の向上に努めました。(4 回開講・受講者 77 人)

③植木剪定就業会員・除草就業会員を対象に安全就業講習会を開催し就業中のヘルメット着用を義務付けし安全就業意識の向上に努めました。(2 回開講・受講者 18 人)

#### (5)調査研究事業について

①事業の拡充や円滑な運営を図るため、必要に応じ調査研究を行いました。

②部会間で事業の調査をするため、全部会会議を 2 回開催し調査研究を行いました。

#### (6)相談事業について

①毎月 2 回入会説明会を開催し、西地区・東地区の公共施設で臨時入会説明会や個別訪問説明会を実施し会員拡大に努めました。(223 名参加・120 名入会)

②毎月 2 回未就業者相談を行い未就業会員へ就業機会の提供を行い、就業率の向上に努めました。(年 24 回・70 名相談)

③女性就業拡大推進員による女性会員の職域拡大のため、女性のつどいや就業相談等を行いました。また、楽しくつどえる機会の検討を行いました。(3 回開催・35 人参加)

#### (7)安全・適正就業推進事業について

①就業会員に安全就業と「市特定健康診査」・「後期高齢者健康診査」の受診を呼びかけ、受診結果の写しを提出してもらい、会員自らの健康チェック(熱中症対策等)を呼びかけました。また受診結果の提出状況や、自分の体の状況を把握するために提出してもらっていることを「事務局だより」に掲載しました。

②「事務局だより」で自転車利用の注意及び途上事故防止を呼びかけ、自転車保険の加入を推進するとともに、すでに加入の方には保険の有効期限の確認を呼びかけました。

③就業器具の自主点検、安全保護具の着用、自らの就業状態についての点検を呼びかけ安全就業に対する自覚を促しました。

④安全標語を募り、「事務局だより」に掲載し安全就業を呼びかけました。

(5 名 20 首応募、12 首選考)

- ⑤「事務局だより」や会報に健康、衛生面、安全就業に関する記事を掲載しました。
- ⑥定期的に安全委員会を開催し安全対策について検討しました。
- ⑦安全に就業するために、「安全就業ハンドブック」の携帯を呼びかけました。
- ⑧植木剪定就業会員・除草就業会員を対象に事故事例 DVD を視聴してもらい、就業中のヘルメット着用を義務化しました。

#### **(8)職業紹介事業について**

- ①法に基づく有料職業紹介事業を行い、臨時的・短期的な就職を斡旋しました。

#### **(9)労働者派遣事業について**

- ①適正就業の推進等必要に応じ、臨時的・短期的な労働者派遣事業を実施しました。
- ②労働者派遣事業での就業機会の拡大に努めました。

**(派遣事業における入職時講習 36 名、キャリアアップ講習 56 名)**

### **2. 自主運営体制の充実及び就業体制の強化について**

- ①担当部会を開催し各部門の事業について検討しました。
- ②全部会会議を開催し部会間の連携を密にし、効率的な活動を行いました。
- ③近隣センターとの連携や調整を図り、広域的な就業機会の開拓・情報収集に努めました。
- ④会員の自主・自立的な就業・待遇・マナーなど、質の向上を目指しました。
- ⑤全シ協・近シ協・大シ協・中部シ協の各協議会と連絡調整を行い、各研修会等に参加し相互研鑽そうごけんさんに努めました。
- ⑥他のシルバー人材センターにおける先進的な取り組みの情報を得る等して事業の拡充に努めました。

### **3. 参考資料**

- ①令和 5 年度請負事業実績状況(別表 1 参照)
- ②年度別契約金額、会員数、就業実人員の推移(別表 2 参照)
- ③令和 5 年度一般労働者派遣事業実績状況(別表 3 参照)
- ④令和 5 年度年齢別・性別・就業希望職群別会員の状況(別表 4 参照)